

シリーズ
原発・いのち・みらい
その9

原発災害と 内部被曝考

村田 祐一 (金沢市・小児科)

「原発は幾重にも安全対策がなされているので安全です」。このたびの大震災で、安全神話は、もろくも崩れました。晩発性障害には言及せず、「放射能放出はありますが、現時点ではすぐに健康を害することはありません。安全、安心です」。何か起き、隠されていたものが明らかになると「想定外」。将来、証言に立つた当事者は、何と答えるのだろうか。どのように子孫に責任を取るのだろうか。

「原発」に関しては、政府と偉い学者がそれでも安全だと宣伝して、海外にまで売り込んでいます。有効な処理方法が無く、保管場所も無くなった核廃棄物をモンゴルの地下に埋めようとの計画まであります。良心に基づき異議を唱える人はわずかです。

私たちの大切な自然を安全な形で後世に残すため、どんなエネルギーに拠っていくかについて、本来はあらゆる情報を公開して国民にも判断を問うべきですが、情報隠蔽が多過ぎます。この国は「原子力ムラ」の住人のためだけにありまはあります。

原発被曝に関するいくつ

かの講演会では、講師の方が自然界からの被曝の話題の中で「われわれは常時体内にK(カリウム)40などの天然放射性物質を八千ベクレル(1ベクレルは一秒間に一回放射線を出す単位)も持っているが健康でしよう！ 少しの放射能は大丈夫です」と話されるが、Cs(セシウム)137など人工放射性物質による内部被曝を過小評価していることに疑問を持ちます。

ICRP (国際放射線防護委員会)などの国際組織の多くは、核兵器国の核政策や原発推進政策に従って、戦略上都合の悪い多くの情報を隠しています。例えば劣化ウラン弾が生み出す放射性物質の塵による内部被曝の軽視などです。国際組織の影響下にある研究者は、放射線被曝を計算するときに局所に目を向けず、に全身の被曝量で計算し、内部被曝を軽視する傾向があります。

Cs137やK40は、化学的性質が似ていてβ線、γ線を出すことが知られていますが、ここからの話は天然放射性物質の代表をK40に、人工放射性物質の代表はCs137に置き換えて話していきます。

グループ保険 ご加入のおすすめ

石川県保険医協会 経営・共済部長 小島 登

会員の先生方におかれましては、ご壮健にて診療にお励みのことと存じます。日ごろは協会の諸活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

保険医協会では来る5月14日から6月15日まで、グループ保険のキャンペーンを行います。グループ保険は1981年8月に発足して以来、今年で32回目のご案内となります。おかげさまで現在加入者は744人(配偶者・子どもを含む。2012年4月1日現在)となっております。この機会にあらためてグループ保険の魅力を知っていただき、まだご加入されていない会員の皆様にもご活用いただきたいと考えております。

年々厳しさを増す医療情勢の中で、病院・医院での経費の見直しをお考えの先生には、お手頃な掛金で大きな保障を得られるグループ保険がお役に立てるものと確信しております。

まだ加入されていない先生はぜひご加入いただき、保険医協会会員のメリットを享受してください。

働き盛りの先生にお勧めします!

グループ保険

5/14(月)から普及開始

会員同士が支えあう生命保険です

保障例

38歳の男性の場合: 月払概算掛金5,960円で4,000万円の保障

38歳の女性の場合: 月払概算掛金4,600円で4,000万円の保障

■普及期間 **2012年5月14日(月)~6月15日(金)**

■グループ保険の主な特長

- お手頃な掛金で大きな保障
- 保険金の受取方法が選択可能(一時金または年金)
- 1年更新で、毎年保険金の見直しが可能
- 剰余金があれば配当金として還元
- 告知書扱いで手続きは簡単

■死亡・高度障害保険金額 **会員は4,000万円、配偶者は1,000万円、子どもは400万円まで加入できます**

■加入資格 **保険医協会会員で、申込日現在、健康で正常に就業している65歳6ヵ月までの方(配偶者・子どもも併せて加入できます)**

■更新日 **2012年8月1日/掛金の振替は7月25日(水)から開始**

○キャンペーン期間中は、太陽生命・富国生命・明治安田生命の担当者が会員のみなさまを訪問させていただきます。ご面談くださいますようお願い申し上げます。

○お問合せは…石川県保険医協会まで
TEL: 076-222-5373 / FAX: 076-231-5156 ※詳細につきましてはパンフレットをご請求ください。

[太陽-勤補-団-23-151]